

「過疎地域自立促進計画への町民の声」記入用紙

藤里町は50年前に8千人を超えていた人口が今年2月には4千人を割り込みました。人口の減少が続き、高齢化率が高くなり過疎化が進みました。

この50年間、町では過疎化に歯止めをかけるため、町道や公共施設の整備、地場産業の振興など、人口流出を防ぐため住みよい町づくりに努めてきました。

現在、町では新たな過疎計画の策定作業を進めていますが、計画をより町民の目線に立ったものにするため、以下の項目についてみなさんの声をお寄せください。

※ 普段思っていることを思いつく限りで結構です。全ての項目を無理に埋める必要はありません。

1、産業の振興について

・農業、林業、観光など、町の産業について、「普段から困っていること、不便に思っていること、こうあって欲しい」などのご意見がありましたら記入してください。

2、交通通信体系の整備について

・藤里町の道路やバスなどの交通事情や地上デジタルテレビが映らないなど、交通や通信について「普段から困っていること、不便に思っていること、こうあって欲しい」などのご意見がありましたら記入してください。

3、生活環境の整備について

・水道や下水道、ゴミの分別、消防、防災など日常生活を送るうえでの環境について、「普段から困っていること、不便に思っていること、こうあって欲しい」などのご意見がありましたら記入してください。

4、高齢者、児童の保健及び福祉の向上及び増進

・介護サービスや生きがい活動、子育てなどの保健や福祉について、「普段から困っていること、不便に思っていること、こうあって欲しい」などのご意見がありましたら記入してください。

5、医療の確保について

・通院などの医療環境で、「普段から困っていること、不便に思っていること、こうあって欲しい」などのご意見がありましたら記入してください。

6、教育の振興について

・小学校、中学校教育や、公民館、体育館などの社会教育施設について「普段から困っていること、不便に思っていること、こうあって欲しい」などのご意見がありましたら記入してください。

7、その他

・人口の減少や、高齢化、少子化など藤里町の過疎問題について、どんなことでもかまいませんので、ご意見がありましたら記入してください。

ご協力ありがとうございました。